

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111		
目的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身に付け、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電気工事コースでは、経済産業省による第二種電気工事士及び総務省による工事担任者DD第二種の国家試験免除認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、現代の設計や施工分野で活躍するための人材を育成すること。							
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業	工科技術専門課程		電子・電気科 電気工事コース		平成22年文部科学 大臣告示第153号		-	
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	2280	1320	0	960	0	0	
単位時間								
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
240 人		78 人		8 人		12 人		20 人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格		
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月3日～9月4日 ■冬季:12月23日～1月6日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件		進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動		■課外活動の種類 卒業作品展覧会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		

就職等の状況	■主な就職先、業界等 NR電車線テクノ株式会社 株式会社関電工 株式会社協同技術センター 首都圏電気メンテナンス株式会社 テスコ株式会社 株式会社三菱地所プロパティマネジ ■就職率※1 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 100 % ■その他 成 26 年度卒業者に関する 平成27年5月1日 時点の情報)	主な資格・検定等	第一・二種電気工事士 工事担任者 2級電気工事施工管理技術検定 高圧・低圧電気取扱特別教育 産業用ロボットの教示等の特別教育 産業用ロボットの検査等の特別教育 消防設備士 ほか
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 平成26年4月1日 在学者 84 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 83 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。	■中退率 1.2 %	
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。

電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。

授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学修評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
菊地 弘光	一般社団法人 家電製品協会 資格審査事業に関する運営評議委員
天野 祐一	東洋エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
沼尾 亨	株式会社京王設備サービス 人事労務担当課長
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長
丸島 浩史	日本工学院八王子専門学校 科長
古山 伸	日本工学院八王子専門学校 主任
柳川 和彦	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長

(開催日時)

第1回 平成27年8月 4日 13:00～14:30、16:00～16:30

第2回 平成28年3月 開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行なうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、又は技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電気工事实習1	経済産業省認定免許 第二種電気工事士取得の養成課程 基本的な工具の使用法・電線の扱い方・加工方法。ケーブル配線工事・リモコン配線工事を第二種電気工事士の資格要件に即した、実践的な内容での実習を行います。	萩原電気管理事務所
電気工事实習2	経済産業省認定免許 第二種電気工事士取得の養成課程 基本的な工具の使用法・電線の扱い方・加工方法。金属製配管工事・合成樹脂配管工事を第二種電気工事士の資格要件に即した、実践的な内容での実習を行います。	萩原電気管理事務所
電気工事实習4	電気配線工事に関して学びます。応用実習を中心に、実践に即した内容をグループ単位で行う実習・実験を行います。特に、太陽光発電パネルの据え付けに関して、安全管理など実務を学びます。	(株)タツミ屋根企画

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の技術動向、必要とされる技術動向を検証し、カリキュラム、教育方法等の改善を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社グループマネージャー
細谷 幸男	八王子商工会議所事務局長
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社代表取締役
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック事務長
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会事務局長
一瀬 康剛	株式会社アトム精密代表取締役
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/>

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 電子・電気科 電気工事コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○							
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○							
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○					
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○							
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○							
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○							
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○							
○			電気施工方法1	電気配線の施工方法の基礎知識を学びます。	1・前	60	4	○							
○			電気機器1	電気機器の仕組みや動作原理、構造などについて学びます。	1・前	60	4	○							
○			電気工事材料・工具	電気工事における材料や器具、工具について学びます。	1・前	30	2	○							
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・前	60	4	○							

[illegible]

[illegible]

○		電気工事実習 3	光接続技術や電気配線工事などについて実習します。	2・前	60	2			○					
○		電気工事実習 4	電気通信配線工事などについて実習します。	2・前	60	2			○					
	○	屋内電気配線 CAD	屋内電気配線を中心に情報ネットワーク配線についてCADソフトを利用して実習します。	2・後	60	2			○					
	○	インターン シップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・通	30	1			○					
合計			43 科目	22800 時間 (120 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目1,860時間(98単位)、選択科目210時間(12単位)以上を取得し、合計2,070時間(110単位)以上を取得すること。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。